

4. 住宅建設

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。

(前年同期(月)比、()内は季調済前期(月)比、%)

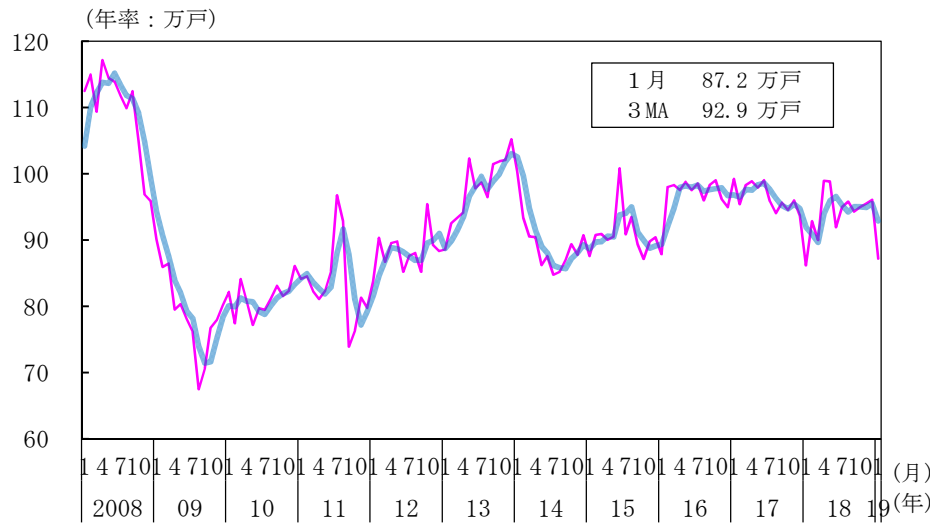
	[2017年] 2016年度	[2018年] 2017年度	2018年 4－6月	7－9月	10－12月	2018年 11月	12月	2019年 1月
新設住宅着工戸数 (万戸) (万戸)	[96.5] 97.4	[94.2] 94.6	96.6	95.0	95.5	95.5	96.1	87.2
	[▲ 0.3] 5.8	[▲ 2.3] ▲ 2.8	(7.7) ▲ 2.0	(▲ 1.6) ▲ 0.2	(0.5) 0.6	(0.6) ▲ 0.6	(0.6) 2.1	(▲ 9.3) 1.1
建築主が民間	[0.2] 5.9	[▲ 2.4] ▲ 2.6	(8.4) ▲ 2.0	(▲ 1.7) ▲ 0.2	(0.6) 0.7	(▲ 0.2) ▲ 1.0	(1.2) 2.4	(▲ 10.0) 1.0
持家	[▲ 2.7] 2.6	[▲ 0.4] ▲ 3.3	(0.8) ▲ 2.5	(▲ 0.2) 0.1	(3.6) 4.0	(▲ 1.3) 2.5	(2.4) 4.8	(▲ 0.1) 3.3
貸家	[0.2] 11.4	[▲ 5.5] ▲ 4.0	(2.8) ▲ 3.5	(▲ 0.9) ▲ 2.0	(▲ 6.3) ▲ 7.4	(0.9) ▲ 6.9	(▲ 5.0) ▲ 7.9	(▲ 6.4) ▲ 12.3
分譲	[1.9] 1.1	[0.0] ▲ 0.3	(16.7) ▲ 1.3	(▲ 0.7) 2.1	(6.4) 10.4	(2.8) 6.1	(4.4) 16.5	(▲ 13.6) 19.8
一戸建て	[3.3] 6.6	[3.1] 2.4	(6.4) 4.2	(▲ 2.4) 3.7	(4.3) 4.8	(▲ 3.0) 0.1	(5.6) 8.6	(▲ 5.8) 4.5
マンション	[0.2] ▲ 4.8	[▲ 3.6] ▲ 3.5	(25.2) ▲ 6.7	(0.9) 0.1	(9.7) 18.8	(12.2) 14.3	(3.2) 29.0	(▲ 13.5) 44.7
着工床面積	[▲ 0.9] 4.1	[▲ 2.8] ▲ 3.6	(6.0) ▲ 3.8	(▲ 1.2) ▲ 0.9	(2.8) 2.3	(0.1) 0.8	(1.7) 3.8	(▲ 7.4) 3.0
建築主が民間	[▲ 0.4] 4.1	[▲ 2.9] ▲ 3.4	(6.3) ▲ 3.8	(▲ 1.3) ▲ 0.9	(2.8) 2.3	(▲ 0.3) 0.5	(2.3) 4.0	(▲ 7.7) 2.9
工事費予定額平米単価 (万円) (万円)	[19.4] 19.2	[19.3] 19.3	19.4	19.2	19.3	19.5	19.3	19.7
	[2.7] 2.0	[▲ 0.7] 0.5	▲ 1.8	1.5	1.3	2.5	2.5	3.1

(備考) 国土交通省「建築着工統計」により作成。

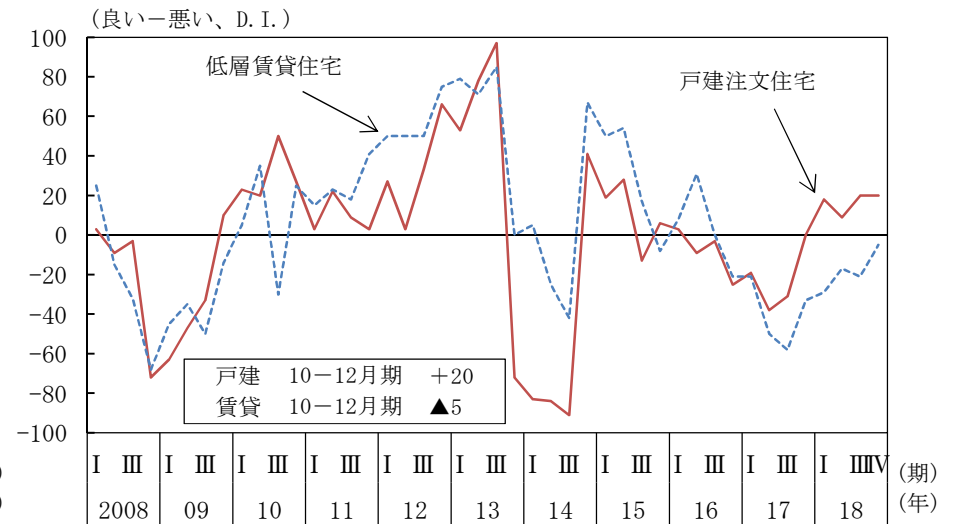
なお、「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。

また、「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

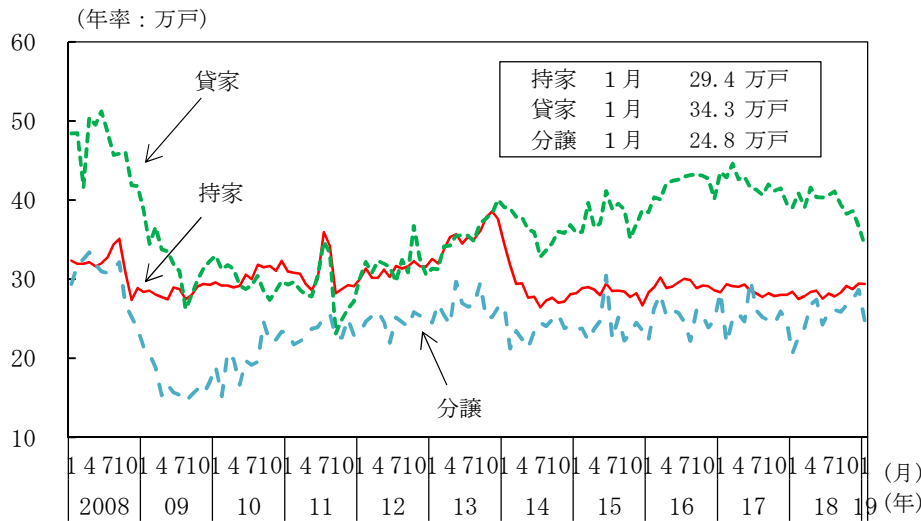
住宅着工戸数（季節調整値）



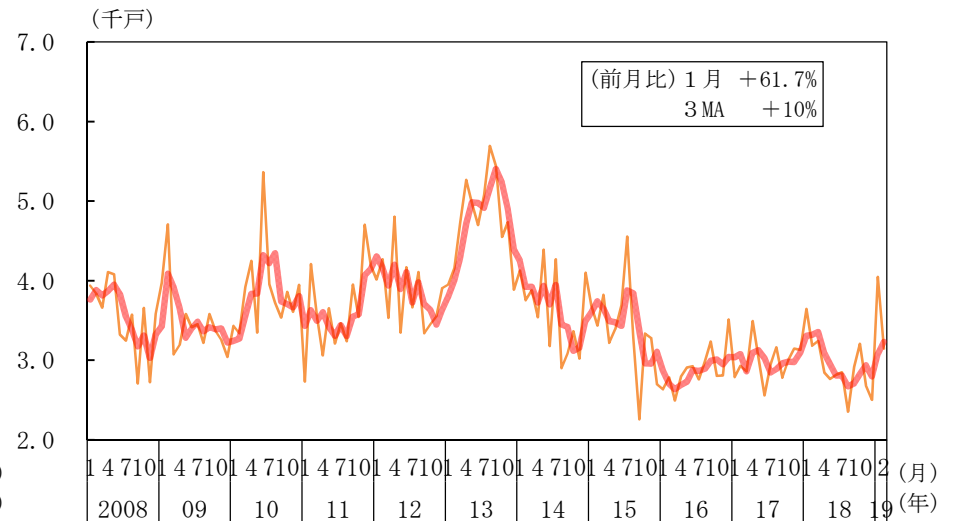
住宅景況判断指数（受注戸数）



利用関係別住宅着工戸数（季節調整値）



首都圏のマンション総販売戸数（季節調整値）



(備考) 1. 国土交通省「建築着工統計」、(一社)住宅生産団体連合会「経営者の住宅景況感調査」、(株)不動産経済研究所資料により作成。太線は後方3か月移動平均。
 2. 住宅景況判断指数(受注戸数)は、住宅生産団体連合会の企業会員等18社の経営者を対象に、受注戸数の前年同期比(実績)について「10%程度以上良い」から「10%程度以上悪い」の5段階の評価に応じた評点により加重平均して算出した値(-100~+100)。
 3. 首都圏のマンション総販売戸数は内閣府による季節調整値。